

# 学習支援

## 子どもにとっての支援と、先生による支援方法の両方に配慮

特別支援教育の観点を重視し、子どもが落ち着いて学習できる教科書にしました。  
また、先生の立ち居振る舞いの例も示しました。

幼児教育から小学校教育へ無理なく導入できるように、上巻最初にはスタートカリキュラムとしての単元を設定しました。この単元では、登校から学校の一日の様子、下校へと話が流れるように展開し、また、写真を使わず、必要な情報のみで表現できるイラストで構成しました。

これは、特別支援教育の観点から、写真を用いると背景の情報が多く入ってくること、視線の追い方が難しくなることなどを考慮したことと、また、幼児期の絵本に慣れ親しんできたことを意識したものです。

上巻 p.2 ~ 11



上巻 p.4 ~ 9

は流れがつながるように構成しています。



上巻 p.54

車いすを使う子どもや、先生の位置にも配慮。



ソーシャルスキルトレーニングを示すことで、基本的なマナーを養います。これは、特別支援のみならず、全ての児童にとっても大切なことと考えています。



# 多様な児童に配慮

CUD(カラーユニバーサルデザイン)にも配慮し、専門機関カラーユニバーサルデザイン機構(CUDO)の協力のもと、多様な色覚特性においても区別がつくように、配色にもこだわりました。

単元内の4段階マークや、たんけんブックのツメの色のほか、デザイン的な配色全てにおいて、区別可能にしています。



教科書の裏表紙に、CUDOの認証を証明するマークを付しています。

